

カール・ヒルティ（スイスの哲学者）の言葉があります。

「 忠告は雪に似て、
静かに降れば降るほど心に長くかかり、
心に食い込んでいくことも深くなる。 」

忠告と怒号は違う。

相手をリスペクトする気持ちから、叱責ではなく、静かに語りかけたい。

そうした忠告を受けることは、自分に対する叱咤激励と受け止め、ありがたい気持ちを表して行きたいと思います。

受けるときもするときも。